

事務事業名		自転車のまちづくり事業			会計	一般会計					
課等名		観光課			事業種別	政策		開始	18	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり							
		施策	13	新しい力による新しい産業づくり							
目的	対象(誰・何を)	自転車を保有している人 自転車に興味がない人			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	ツアー・オブ・ジャパンを実施することにより、飯田を全国に発信し、飯田のファンを増やすとともに飯田を訪れる人を増やす。また、地域内の人が、国際レースが当地域で				飯田市の自転車防犯登録台数:台			43455		
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	イベントに訪れた人(観客数:人)			37000	35000	35000	35000			
	定性目標										
	事業概要										
<p>1 TOJ(ツアー・オブ・ジャパン)の実施                  (1) 実行委員会への負担金支出 (2) 道路使用調整、レース事務局との連絡調整、コース沿線住民・関係企業等依頼、協賛金対応、警備・安全対策等調整実施、大会地元本部運営等                  2 自転車普及・誘客事業 (1) 普及、誘客事業の検討、実施 (2) 自転車のまち推進会議への負担金支出</p>											
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	<p>1 自転車レースの開催                  (1) ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催 下久堅周回コース</p> <p>2 自転車普及・誘客事業(自転車のまち推進会議事業)                  (1) 市民向け自転車普及イベントの共催(地球温暖化対策課、保健課等との連携)                  (2) 自転車で楽しむコースの情報収集と情報の発信(シクロツーリズムの振興)                  (3) 自転車のまち推進会議、部会での検討</p>				<p>1 レースの開催                  (1) TOJ観客数</p> <p>2 自転車普及・誘客事業                  (1) イベント共催数                  (2) ツアー情報発信数                  (3) 会議、部会開催数</p>			<p>1                  (1) 35,000人</p> <p>2                  (1) 2回                  (2) 2回                  (3) 2回</p>			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		702	14,000	14,000	7,450	(そ)ふるさと基金繰入金 1,000千円					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他			1,000	1,000							
一般財源		702	13,000	13,000	7,450						
人件費計(千円)②		715		7,617							
正規職員所要時間		200		2,100							
臨時職員所要時間				100							
総事業費①+②		1,417	14,000	21,617	7,450						
事業内容・目標達成状況の振り返り		2年ぶりのTOJ南信州ステージ開催で、大会としては成功できた。観客数は目標数値に届かなかったが、多くの報道機関に取り上げられ、飯田市を情報発信することはできた。									
改革改善の考え方	①問題点	①(財)JKAからの補助金が削減、更にTOJ全体の共通経費を開催ステージで費用負担することになり、経費が大幅に増加した。市議会からは事業の縮小・廃止が提言されている。									
	②改革提案	①南信州ステージでの運営経費を見直し、縮小・廃止できる部分は削減。更に開催ステージで負担しているTOJ全体の共通経費をTOJ組織委員会事務局の(財)日本自転車普及協会が自主財源又はスポンサーを探して負担するよう申し入れて									